



2021年9月24日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾所蔵作品の修復の歴史を初公開 美術作品の修復・保存の現場に近づく展覧会

「我に触れよ (Tangite me) : コロナ時代に修復を考える」開催 (10/18~12/3)

私たちが怪我をすれば手当てをするように、美術作品にも「ケア（治療行為）」といえる行ないがあります。それが「修復」です。本展では、明治期のブロンズ像から現代美術作品まで、過去に慶應義塾で修復・保存された13作品を取り上げ、学びの場における作品のあゆみと作品修復のストーリーをご紹介します。普段目にする機会の少ない修復の道具類の展示や、修復前後を比較するデジタル・コンテンツ、シンポジウムやトークを通じて、いま改めて「修復」について考えます。作品に「触れる」ことから始まる修復の世界を、ぜひお楽しみください。

1. 基本情報

会 期：2021年10月18日(月)～12月3日(金)

*土日祝休館、11月6日(土)特別開館／11月8日(月)臨時休館

会 場：南会場＝慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館1階）

東会場＝慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）

開館時間：11:00～18:00

入 場：事前予約制（無料）

詳 細：<https://bit.ly/3gBDMTb>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期等が変更になることがあります。最新情報は展覧会ウェブサイト (<https://bit.ly/3gBDMTb>) をご確認ください。

2. 展覧会の概要

「我に触れよ」—— 修復を必要とする作品はこのように語りかけているのかもしれませんが。普段、私たちは芸術作品と距離をとり、触らずに鑑賞することが求められます。一方、修復は作品に近づき、直接触れること無くしては成立しません。「我に触れよ」という作品の声を聞き、触れることが許された時、私たちはどのように応えるべきなのでしょう。

慶應義塾では、長年にわたり所蔵作品の保存修復を行い、作品を受け継いできました。東京大空襲で図書館と共に被災した大型大理石像や、移設を経て今も三田キャンパスの食堂を飾る壁画、青写真感光紙を接いだ全長約12メートルにおよぶ作品など、素材も設置状況も様々です。

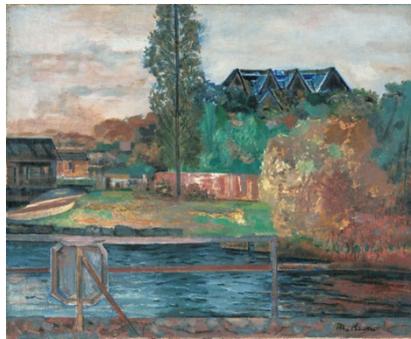
本展では、これまでの修復活動の裏側を初公開いたします。特性に応じた多様なケアの在り方と手法に注目し、シンポジウムやトークを通じて、皆さんと修復について共に考えることを目指します。接触の機会が奪われているこのコロナの時代に、本展が改めて「触」の観点から芸術作品と向き合う機会となれば幸いです。

3. 主な出品作品

1. 大熊氏廣、鈴木長吉《福澤諭吉還暦祝 灯台》1897年
2. 河野通勢《箱根芦ノ湖風景》
3. イサム・ノグチ《丸椅子》1951年
4. 中西夏之《男子総カタログ '63》1963年
5. 北村四海《手古奈》1909年頃 ほか



1.



2.



3.



4.



5.



6. 《手古奈》修復の様子

4. 関連イベント

1. シンポジウム | 我に触れよ (Tangite me) : コロナ時代に修復を考える
11月6日(土) 13:00~17:00 [オンライン(無料・事前予約制)]
2. 旧ノグチ・ルーム特別公開日 : 11月1日(月)~6日(土) [3日(水・祝)は除く]
3. ギャラリートーク | 修復家と見る《福澤諭吉還暦祝 灯台》(仮)
11月17日(水) 17:00~18:00 [オンライン(無料・事前予約制)]
4. 記録集『我に触れよ (Tangite me) : コロナ時代に修復を考える』2022年3月刊行予定
*各イベントの詳細は展覧会ウェブサイトにてご確認ください。 <https://bit.ly/3gBDMTh>

5. 会場案内

会場：南会場＝慶應義塾大学アート・センター 南別館 1F アート・スペース

東会場＝慶應義塾ミュージアム・commons 東別館

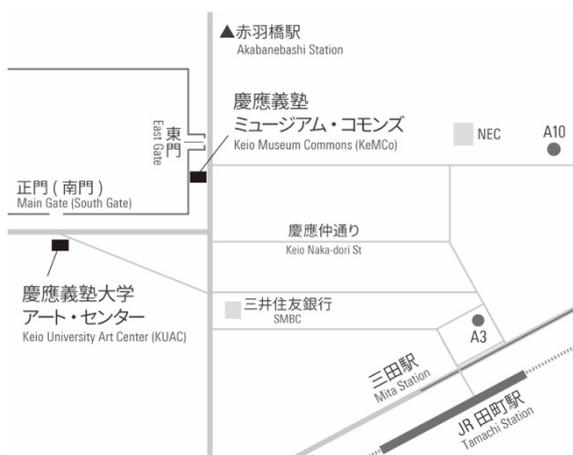
住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス南別館／東別館

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



アート・センター
(三田キャンパス南別館) 外観



ミュージアム・commons
(三田キャンパス東別館) 外観

6. 主催・運営

主催：慶應義塾大学アート・センター
慶應義塾ミュージアム・commons
慶應義塾美術品管理運用委員会

協力：有限会社 修復研究所二十一
有限会社 ブロンズスタジオ

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>